

検討事項報告書

基本構想 序論

番号	委員からの指摘内容	回答
1	p2「一宮市のすがた」に氾濫の記述はあるが、地震には触れられていない。	p2では本市の地形とその成り立ちを中心に述べていますので、p10「F.安全・安心な社会の構築」の【本市では】の最初の一段落を次のとおり修正します。 「過去には濃尾地震(明治24年)などの大地震があり、近い将来は南海トラフ巨大地震の発生が危惧されます。そういったなか、公共建築物や民間木造住宅の耐震化に取り組んできたほか、ゲリラ豪雨や台風などの風水害に対しては、総合治水対策事業、防災ハンドブックによる啓発などを行っています。引き続き、ハードとソフトの両面で取組を進める必要があります。」
2	p3～6では、本市の特長が書かれていると思うが、小見出しがあるとわかりやすい。	p3に「一宮市の特性」という見出しを付けます。
3	p3「交通アクセス」●2つ目、p28文中では「名古屋高速道路」、p30のイメージ図では「名岐道路」と混在しているの、「名古屋高速道路(名岐道路)」と併記するなど、全体に統一した方が良い。	p3、28については、「名古屋高速道路(名岐道路)」に修正します。 p30については、供用区間を「名古屋高速道路(名岐道路)」に変更し、未整備区間については、「(名岐道路)」に変更します。
4	p3「産業・観光」の記述について、織物と七夕まつりだけで良いか。	●3番目に、次の一段落を追加します。 「●伝統的な産業を中心に、産業観光が注目されています。工場見学や体験型観光に取り組んでいるほか、のこぎり屋根の工場を店舗などに転用する事例もあります。また、フィルムコミッション事業により、市内の施設・風景を映画等の撮影に活用してもらえよう支援しています。」
5	p3「産業・観光」の部分に「フィルムコミッション」を追加してはどうか。	
6	p5「生活環境・防災」の、i-タクシーの記述について、現在まだ試験運行中であるため、その旨、記載してはどうか。	欄外に、「平成28年7月から試行運行を実施」という注釈を付け加えます。
7	p5「スポーツ・文化」の写真は、3点のうち、総合体育館が2点ある。一宮市には文化財もあるので、1点は文化財の写真に変更してはどうか。	中央の総合体育館館内の写真を旧林家住宅の外観の写真に変更します。

8	p6「協働・コミュニティ」●2つ目では、「市民ボランティア団体」とあるが、表現が適当ではないのではないか。欄外の「アダプトプログラム」の注釈は、ボランティア市民等とある。全体的に表現を統一してほしい。	「市民ボランティア団体」を「ボランティアの市民・団体等」に修正します。 また、下欄の注釈にある「ボランティア市民等」は「ボランティアの市民・団体等」に修正します。
9	p8「B. リニア中央新幹線の開業」にストロー現象とあるが、リニア開業には、マイナスの側面ばかりでなく、好機としての面も書いてはどうか。	「B.リニア中央新幹線の開業」の【本市では】の第2段落を次のとおり修正します。 「(前略)本市にそうした影響が及ばないよう、鉄道のみならず、道路交通網の整備も進めながら、効果を楽しんでいく必要もあります。」
10	p8「B. リニア中央新幹線の開業」に書かれている「名古屋駅まで約10分」は逆ではないか。外から一宮へ来てもらうという視点で考えてほしい。	「名古屋駅まで約10分」を「名古屋駅から約10分」に修正します。
11	p10「E. 地域経済の停滞」では、繊維産業のみが書いてあるが、ソニーの後にコナミが建設されたなど、新しい産業も出ているので、繊維産業以外のことも書いた方が良くはないか。	「E.地域経済の停滞」の【本市では】の最初の一段落を次のとおり修正します。 「従業者数4人以上の事業所数は825事業所(平成26年7月1日現在)で減少傾向にあります。とりわけ、製造品出荷額等(平成26年)の6分の1を占め、本市の地場産業である(後略)」
12	p10「F. 安全・安心な社会の構築」では公共建築物の耐震化なども書かれているが、住民のことも記載したほうが良い。住宅の耐震化が進むことが、安全・安心なまちといえる。	【本市では】の最初の一段落を次のとおり修正します。 「過去には濃尾地震(明治24年)などの大地震があり、近い将来は南海トラフ巨大地震の発生が危惧されます。そういったなか、公共建築物や民間木造住宅の耐震化に取り組んできたほか、ゲリラ豪雨や台風などの風水害に対しては、総合治水対策事業、防災ハンドブックによる啓発などを行っています。引き続き、ハードとソフトの両面で取組を進める必要があります。」
13	p10「F. 安全・安心な社会の構築」の犯罪認知件数等のデータが古いので、最新のデータがあれば、更新してほしい。	下から4行目「平成27年では、3,742件」を「平成28年では、3,681件」に、下から2行目「平成27年には2,340件」を「平成28年には2,071件」に修正します。
14	p8～12「AからJ」のうち、「H、J」では、文末が「努めています」「取り組んでいます」となっているが「努めていきます」「取り組んでいきます」等が適当だと思うので、表現を検討してほしい。	「H.分権改革の進展」の【本市では】の第2段落を次のとおり修正します。 「ほかにも(中略)サービスを提供できるよう努めていきます。」 「J.厳しい財源確保」の【本市では】は、次のとおり修正します。 「地方交付税における合併による増額メリットの減少などに伴い、事務・事業の効率化や『一宮市行財政改革大綱』に基づく行政改革などによって、予算の圧縮に努めています。これからもさまざまな市民サービスを提供していくためにも、市税収入の確保はもとより、文化・スポーツ施設などの公共施設や横断歩道橋といったインフラのネーミングライツ、市広報紙での有料広告といった税外収入の確保にも積極的に取り組みながら、より一層財政基盤を強化していく必要があります。」
15	p12「J. 厳しい財源確保」では、ネーミングライツは歩道橋など具体的に書いたほうが良い。	

-	※事務局から会議後に修正報告	<p>「H. 分権改革の進展」の修正</p> <p>(理由) 中核市への移行については、平成20年に検討の結果として一旦延期を表明していますが、以降も移譲事務の増加と交付税措置等による財政的な影響の検討は引き続き行っており、また平成29年5月には市議会に中核市調査検討協議会が設置されるなど、第7次一宮市総合計画の期間中に移行することも想定されます。中核市に移行した場合、保健所の設置をはじめとして市政への影響は非常に大きいので、この項目で触れることとしました。</p> <p>【本市では】 「(前略)市民に身近な場所でサービスを提供できるよう努めていきます。 また、本市は、中核市※となる人口要件も満たしています。中核市となれば、これまで以上に迅速で効率的な市民サービスが提供でき、市民生活の利便性も高まることから、中核市への移行についての検討も続けています。」</p> <p>また、脚注に次の一文を追加します。 ※中核市……人口20万人以上の都市の仕事や権限を強化した制度。県から移譲される仕事は、保健所の設置、身体障害者手帳の交付など。</p>
---	----------------	---

基本構想 本論

番号	委員からの指摘内容	回答
16	p15「今、できること」「今、やっておくこと」とあるが、この基本構想は、10年間のことを書いているので、「10年間でできること、10年間でやっておくべきこと」というべきではないか。	6行目『「今、できること」「今、やっておくべきこと」』を『「今から、できること」「今から、やっておくべきこと」』に修正します。
17	p18からの「一宮市の未来ストーリー」について、絵は親しみやすいが、字が小さい。また、挿絵の配列にも工夫をこらして欲しい。	製本する際、文字は大きく読みやすくします。 また、絵の配列については、業者からの提案も受けながら、できる限り見やすく工夫します。
18	p18「一宮市の未来ストーリー」について、明るい未来ばかりでなく、負担増等の部分ももう少し加筆しても良いのではないか。	p12「J. 厳しい財源確保」の【本市では】を、以下のとおり加筆修正します。 「地方交付税における合併による増額メリットの減少などに伴い、事務・事業の効率化や『一宮市行財政改革大綱』に基づく行政改革などによって、予算の圧縮に努めています。 これからもさまざまな市民サービスを提供していくためにも、市税収入の確保はもとより、文化・スポーツ施設などの公共施設や横断歩道橋といったインフラのネーミングライツ、市広報紙での有料広告といった税外収入の確保にも積極的に取り組みながら、より一層財政基盤を強化していく必要があります。」

19	<p>※会議終了後に護委員より専門的知見から指摘</p> <p>p21「未来ストーリー3 このまちで、生きていく！」の8～9行目「連続する震度7クラスの地震にも全く問題ないみたい」は有り得ない。</p>	<p>「震度7とかの大きな地震にも大丈夫みたい」と修正します。</p>
20	<p>p26・27について、平成という元号は将来使用されなくなるので、西暦との併記にしてください。</p>	<p>元号が変更となった以降の記述については、西暦との併記を行います。</p>
21	<p>p28「2.多拠点ネットワーク」の下から4行目、「各拠点」とは何か、この段階ではわかりにくい。p30イメージ図にはあるが、p28、29でも触れてはどうか。</p>	<p>p28の「2.多拠点ネットワーク型都市の構築」第2段落の全4行を以下のように修正します。</p> <p>「そこで、一宮駅周辺の市の中心部を『都市拠点』として高次の都市機能を集積し、それを補完する尾西庁舎周辺および木曾川駅周辺を『副次的都市拠点』とします。また郊外部では出張所、小中学校等の身近な便民施設が集積した地区を『地域生活拠点』として3つの拠点に分け、都市拠点と他の拠点を公共交通でネットワーク化し連携することで、多拠点ネットワーク型都市を目指し、人・モノ・情報の交流を促進します。」</p>
22	<p>p29「住宅地の配置方針」●3つ目、「市街化調整区域の駅周辺等」の「等」に何が含まれるのかわかりづらい。「出張所、小中学校」が含まれることがわかるようにしてはどうか。</p>	<p>p28の「2.多拠点ネットワーク型都市の構築」第2段落の全4行を上記No.21のとおり修正します。</p> <p>また、p30の説明書きの「地域生活拠点(出張所・公民館周辺)」を「地域生活拠点(出張所・公民館等周辺)」へ変更します。</p>
23	<p>p30「まちづくりのイメージ図」中の、「名岐道路延伸」という記載は、わかりにくい。また、「北尾張中央道(新国道)」の「新」はおかしい。全体的に図を確認してほしい。</p>	<p>次のように図の表現を修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「延伸」を削除します。 ・「北尾張中央道(新国道155号)」を「国道155号(北尾張中央道)」へ変更します。 ・「西尾張中央道」を「県道岐阜稲沢線(西尾張中央道)」へ変更します。 ・西尾張中央道を示すラインを変更します。 <p>なお、製本する際は、できる限り実態と近づくよう印刷会社と協議します。</p>
24	<p>p30「イメージ図」の凡例には、道路のことしか書いていないが、出張所等の市民にとって馴染みのあるマークを入れ、一宮市の現状のイメージであることがわかるようにしてほしい。</p>	<p>製本する際、できる限りイメージに近づくよう印刷会社に作成してもらいます。</p>

基本構想 資料編

番号	委員からの指摘内容	回答
25	<p>p43「アンケートのクロス集計」をしているが、Aのゾーンを施策として取り上げているのか。この集計結果がどのように施策や将来像につながっているのかわかりにくい。</p>	<p>p42「2. 市民アンケート」の本文の文末に、次の一文を追加します。</p> <p>「なお、調査結果から、市民が重要と考える一方、満足度が低い項目を、また、特に重要であると思う項目を施策に反映させました。」</p>

■ 健康・福祉・教育分科会

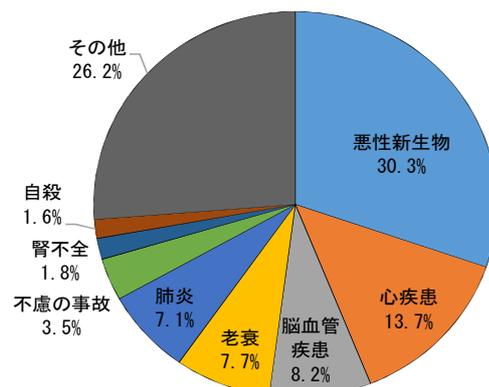
前期基本計画 全般

番号	委員からの指摘内容	回答
26	指標の算出方法がわかりにくいので、見方(p5)のみでなく、算出方法のページを各施策に書き入れてほしい。	指標の表の欄外に「※各指標の算出方法は92～97ページを参照」と追記します。

プラン1 施策1

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議時に訂正報告	【個別計画】名称 (仮称)「一宮市国民健康保険データヘルス計画」→「第2期一宮市国民健康保険データヘルス計画」に修正(理由) 現在、平成28・29年度の期間とする計画が既にあるため、次期計画では「第2期」とする予定である。
27	健康寿命に関しては、「薬物乱用」の影響が深刻であると感じる。子どもやスポーツをする人のドーピングなど、今後10年間で増えていくと思うので、現状・課題にそのような記載を含めてほしい。	確かに薬物乱用防止も今後の課題ではありますが、この点は県保健所が主に対策を行っている事業であるため、市が事業主体である健康づくりや健康診査、予防接種の各事業を優先して記載しました。よって、そのままとさせていただきます。
28	ここ数年の市民の健康状況の推移(肺炎が増えているなど)を書けないか。	現状の2つ目に、「本市の死因割合は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が全体の約半数を占めています。」との記載があり、ここ数年、この状況に大きな変化はないため、このままの記載とさせていただきます。
29	グラフ(本市の死因別死亡状況)は、全国では、肺炎が理由での死亡は第3位となっているが、一宮市では4位なのか。それとも、データが平成26年と古いのか。もっと新しいデータにすることはできないのか。	平成26年における一宮市の肺炎での死因別割合は、掲載しているグラフのとおりで第4位です。平成26年のデータを記載しているのは、衛生年報は2年後にしか公表されないため、作成時の平成28年度中に把握できたデータとしては平成26年分が最新のものでした。 現在は、平成27年分の衛生年報が公表されていますので、次のグラフに差し替えます。 なお、平成27年度では、一宮市の肺炎での死因別割合は7.1%で第5位となっています。

■ 本市の死因別死亡状況(平成27年のデータに修正)



資料:愛知県衛生年報
(平成27年)

30	<p>事業展開の方向性では、施策1の「健康づくりサポーター事業、健康づくり食生活改善推進事業」が代表的な事業として掲載されていることに疑問を感じる。</p>	<p>健康づくりサポーターと健康づくり食生活改善推進員は、市で養成講座を開催して養成してきたボランティアであり、その方々で作っている協議会に市が補助金を交付するなどして支援を行い、市民の健康づくりの推進に従事していただいています。</p> <p>課題の2つ目にある「市民一人一人が主役となり、積極的に健康づくりに取り組めるように、それをサポートするための環境づくりが必要です。」のメインとなる取り組みですので、「事業展開の方向性」に記載しました。</p>
31	<p>ウォーキングマップの作成をしてウォーキングを促している。事業展開の方向性に事業を追加してはどうか。</p>	<p>ウォーキングマップの作成事業は、健康づくりサポーターとの協働事業で平成28年度に作成しましたが、単年度の事業です。</p> <p>今後もウォーキングマップは活用していきますが、継続的に作成を行う事業ではなく、また「健康づくりサポーター事業」の一環と考えておりますので、「事業展開の方向性」には記載しないこととさせていただきます。</p>
32	<p>指標①(各種がん検診の受診率)、②(国民健康保険の特定健康診査の受診率)はこの施策の成果を測る指標として適当でないと感じる。「要介護者の割合」、「健康寿命そのものの指標(死亡者の年齢・推移等から推計する)」等にできないか。</p>	<p>指標①について がん検診受診率については、国や県の健康増進計画の目標に必ず取り上げられているものであり、がん検診は市の事業としても大きなウエイトを占めているため、指標とさせていただきます。(なお、指標の名称を「がん検診受診率」に修正し、算出方法に詳細を追記します。No.35参照)</p> <p>指標②について 指標を「国民健康保険の特定保健指導の該当率」に変更します。 【基準値と目標値】 基準値:11.2% 目標値:10.6% 【指標数値の算出方法(p92)】 「国民健康保険の特定保健指導の対象者数／特定健康診査の受診者数×100」</p> <p>代替指標について 「要介護者の割合」について 施策4で円グラフを記載しており、高齢者福祉計画(含む介護保険事業計画)で取り上げているため、ここでは指標としないこととさせていただきます。 「健康寿命」について 国は算出方法として、①日常生活に制限のない期間の平均、②自分が健康であると自覚している期間の平均、③日常生活動作が自立している期間の平均、の3つの方法を示しています。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

<p>32 (続き)</p>	<p>(再掲) 指標①(各種がん検診の受診率)、②(国民健康保険の特定健康診査の受診率)はこの施策の成果を測る指標として適当でないと感じる。「要介護者の割合」、「健康寿命そのものの指標(死亡者の年齢・推移等から推計する)」等にできないか。</p>	<p>(続き) 国や県においては国民生活基礎調査により①の方法で健康寿命を算出し公表していますが、市町村単位では①の方法では算出できません。市町村で算出できる方法として③がありますが、この方法で算出した一宮市における平均寿命と健康寿命との差は、男性で1.57歳、女性で3.29歳です。(国が③の方法で算出した平均寿命と健康寿命との差は、男性で1.63歳、3.41歳で、一宮市と近い数値)。国や県が①の方法で算出し公表している平均寿命と健康寿命との差(男性9歳、女性12歳)とは数値が大きく乖離しており、世間一般の常識とはかけ離れています。 なお、当案件は「第2次健康日本21いちのみや計画」策定時に学識経験者の方たちの議論でも市の指標として適切でないとの結論にも至りましたので、健康寿命を指標にすることはできないと考えています。</p>
<p>33</p>	<p>指標①について、「健康意識が高い」という観点からすると、「がん検診の受診率」でも良いのではないか。ただし、市のがん検診の受診者には会社の方等は含まれていないと思われ、分母がどのように計上されているのかわからないので、計算上、正しいのか疑問が残る。</p>	<p>国はがん検診受診率の算出方法として、①地域保健・健康増進事業報告に基づく算出方法、②国民生活基礎調査に基づく算出方法、③国勢調査に基づく推計対象者による算出方法、の3つを示しています。 現在、基準値の欄に記載している受診率は③の方法により算出したものですが、第2次健康日本21いちのみや計画では、①の方法(分母を「国民健康保険と後期高齢者医療保険の被保険者数+国民年金の第3号の被保険者数の2分の1」とする)で算出した受診率を掲載しており、3つの算出方法の中で実態に一番近いこと、および市の計画内で整合を図るため、①の方法に変更させていただきます。 【基準値の修正】 この見直しにより、基準値の欄に記載している受診率を34.9%から28.6%に修正します。なお、目標値は変更しません。</p>
<p>34</p>	<p>指標では「各種がん検診」とあるが、一くくりとするのではなく、個々の受診率を現状把握・分析して施策として進めていくべきではないか。</p>	<p>確かに個々のがん検診を取り上げるべきですが、指標の数は全ての施策において2～3つに統一されていますので、がん検診で1つとするため平均とさせていただきます。(対象の検診についてはNo.35で回答) 個々の受診率については、第2次健康日本21いちのみや計画の中に、県の健康増進計画に沿って記載しています。</p>
<p>35</p>	<p>指標の「各種がん」とは具体的に何を指しているのか。一人で検診を受けた場合、実人数なのか、延べ人数なのか。年齢別・性別で受診の対象が変わってくると思うがどのようになっているのか。</p>	<p>「各種がん検診の受診率」とは、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんの6つのがん検診の受診者数と対象者数を、それぞれ合計して計算したものです。 ご指摘のとおり、「各種がん検診の受診率」という表現では市民に混乱を招くため、「がん検診受診率」に表現を改め、詳細をp92の算出方法に記載します。 なお、前立腺がん検診については、国の指針において実施を定められたものではなく、また5年に1回しか受診できない検診であるため、対象から外しています。 【名称】 「がん検診受診率」に変更 【算出方法(p92)の修正】 算出方法＝胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんの各がん検診受診者数／当該がん検診対象者数の合計×100</p>

36	「市民が考えた私たちにできること」は「心のバランス」のこともあって良い。	市民ワークショップでの意見を再確認したところ、「心の健康を意識して、ストレスをためないようにする」という意見がありましたので、この意見を追記します。
----	--------------------------------------	--

プラン1 施策2

番号	委員からの指摘内容	回答																												
37	指標①では、基準値、目標値ともに0人になっているが、隠れ待機児童の問題に踏み込み、「第1、第2希望の園に入れなかった児童」としてはどうか。	国の定義する待機児童を指標としており、ご提案の第1希望に入れなかった「隠れ待機児童」は、待機児童とされていませんので、現行のままとさせていただきます。																												
38	第2、第3の希望の保育園に入園した人は、延長保育で預かってもらえているのか。安心して子どもを預けられるよう、指標に盛り込めないか。	延長保育指定園への入園希望者が、全て延長保育を希望しているという訳ではありませんので、現行のままとさせていただきます。																												
39	表「特別保育実施園数の推移」が記載してあるが、保育園、児童クラブのことを書いているので、普通の保育園、児童館・児童クラブ等の実施数も書くと、本市もこれだけやっているというアピールになると思う。	「保育施設の推移」、「放課後児童クラブ施設数・総定員の推移」(下表)を追加します。 なお、紙面の都合上、「ファミリー・サポート・センター活動件数の推移」、「地域型保育事業実施事業所数」の表を削除します。																												
<p>(追加)</p> <p>■ 保育施設の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立保育園</td> <td>53園</td> <td>53園</td> <td>53園</td> </tr> <tr> <td>私立保育園</td> <td>14園</td> <td>14園</td> <td>15園</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>67園</td> <td>67園</td> <td>68園</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 放課後児童クラブ施設数・総定員の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>55施設</td> <td>55施設</td> <td>56施設</td> </tr> <tr> <td>総定員</td> <td>3,056人</td> <td>3,092人</td> <td>3,908人</td> </tr> </tbody> </table>				平成25年度	平成26年度	平成27年度	公立保育園	53園	53園	53園	私立保育園	14園	14園	15園	合計	67園	67園	68園		平成25年度	平成26年度	平成27年度	施設数	55施設	55施設	56施設	総定員	3,056人	3,092人	3,908人
	平成25年度	平成26年度	平成27年度																											
公立保育園	53園	53園	53園																											
私立保育園	14園	14園	15園																											
合計	67園	67園	68園																											
	平成25年度	平成26年度	平成27年度																											
施設数	55施設	55施設	56施設																											
総定員	3,056人	3,092人	3,908人																											

プラン1 施策3

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議時に訂正報告	【指標】「③地域医療機関から市民病院への紹介率」の目標値 65.0%→70.0%に修正 (理由) 65.0%は平成28年10月の数値である。 個別計画「一宮市病院事業新改革プラン(平成29～32年度)」では、目標を70.0%としているので、これに合わせる。

40	課題の●2つ目の、「地域医療機関」は、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師」と加えてほしい。	「地域医療機関」の前に、代表的な「かかりつけ医をはじめとする」を加えます。
41	課題には、地域医療連携法人等も視野に入れて、自治体、法人との連携についてより広域的な点も書き入れるべきではないか。	「地域医療連携推進法人」については、現在のところ考えておりません。
42	グラフのデータが古い。今後10年間のことなので、平成27年度の数値では今後の対応に生かせない。	数値は原案作成時(平成28年7月)時点で把握できる最新の数値としています。なお、決算額は28年12月の市議会にて認定された額を最新として記載しています。
43	グラフは患者の推移を挙げているが、これだけ見ると、病床利用率は減り、患者数も減っているというマイナスなものとしかたれない。 現状と課題では、緩和ケア病棟やハイブリッド手術室など、目線を変えた取組をしているので、経営に問題はないこと、逆紹介率が上がっている成果であることなど、プラスの内容が見えるよう、強調するような記載にできないか。	個別計画の「一宮市病院事業新改革プラン」に掲載してあります収支状況の表について、一部を抜粋して次の表を掲載します。
44	市民病院は地域に還元していることなどは、説明を聞けばわかるが、この施策のページを見ただけではわからず、経営状況は大丈夫なのかと不安になるような書きぶりであると感じる。経営状況がわかるような書き方を検討してほしい。	

(追加)

■市民病院の収支状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収益 (A)	19,134百万円	19,442百万円	19,727百万円	19,044百万円	18,885百万円
経常費用 (B)	18,508百万円	18,814百万円	19,544百万円	18,773百万円	19,045百万円
経常収支 (A-B)	626百万円	628百万円	183百万円	271百万円	▲ 160百万円

■木曽川市民病院の収支状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収益 (A)	2,486百万円	2,476百万円	2,258百万円	2,285百万円	2,248百万円
経常費用 (B)	2,357百万円	2,374百万円	2,325百万円	2,205百万円	2,209百万円
経常収支 (A-B)	129百万円	102百万円	▲ 67百万円	80百万円	39百万円

資料:一宮市

45	<p>指標①(市立病院の医師の採用・退職者の比率)は、基準値が102.9%だが、目標値を100%としている。課題では、「医師不足で引き続き医師の確保をしていく」としているのに、目標値が基準値を下回るのはいかなるのか。</p> <p>そもそも新病棟をつくと、医師も必ず余分に必要となると思うが、そのときの指標の推移はどのように判断するのか。</p>	<p>成果指標を 市立病院の ①医師の充足率 ②看護職員の充足率に変更します。</p> <p>【基準値と目標値】 ①基準値:98.6% 目標値:100% ②基準値:96.6% 目標値:100%</p> <p>【指標数値の算出方法(p92)】 ①「各年4月1日の医師数/各年4月1日の必要な医師数×100」 ②「各年4月1日の看護職員数/各年4月1日の必要な看護職員数×100」</p>
46	<p>成果指標(採用・退職者の比率)(定員に対する充足率)としてはどうか。</p>	
47	<p>指標③(地域医療機関から市民病院への紹介率)は、紹介率と同様、逆紹介率も大切なので、指標に加えることはできないか。</p>	<p>急性期病院である市民病院としては、地域医療機関への働きかけにより紹介率を上げていくことが患者数の増加につながり、それによって収益的にもプラスに働くことから、紹介率をより重要と考え、指標としました。</p> <p>なお、成果指標の数は、全施策3つまでとして設定しておりますので、代表的な指標として3つ選出しました。</p>
-	<p>※事務局から会議後に修正報告</p>	<p>課題の●1つ目 「…引き続き医師」の後に、「・看護職員の」を追加します。 【修正後】 引き続き医師・看護職員の確保が必要になってきます。</p> <p>事業展開の方向性 「医師・看護師確保事業」を「医師・看護職員確保事業」に修正します。</p>

プラン1 施策4

番号	委員からの指摘内容	回答
48	<p>「現状」2つ目、3つ目で介護サービスの費用の増大のことが書いてあるが、「課題」では書いていない。課題のどこかに介護費用の増大のことを書くか、「事業展開の方向性」3つ目を介護事業費の増大に対応する内容に変えてほしい。</p>	<p>・「現状」の2つ目、3つ目とも、「介護費用の増大」が強調されている記載となっていました。超高齢社会が進んでいるなか、「介護需要の増大にどう対処するか、どのような仕組みが必要か」が重要な問題ですので、「課題」を再整理して次のとおり修正します。</p> <p>【現状3つ目】 ●75歳以上(後期高齢者)の人口割合が増加し続け、平成37年頃には、団塊の世代の人が全て75歳以上となるため、介護の需要が更に増加することが見込まれます。</p> <p>(次ページに続く)</p>
49	<p>「課題」2つ目を「介護する家族の負担を軽減しつつ」と書き入れるなど、介護をする家族側のことについても書いてはどうか。</p>	
50	<p>厚生労働省では、共助・互助での助け合いを重視する流れとなっているので、新たな介護の担い手づくりのことを現状か課題のどこかに書き入れてほしい。</p>	

51	<p>「課題」2つ目は事業展開の1つ目(安心)と2つ目(いきいき)の両方の内容につながると思うので、「住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう」などわかりやすいよう形容詞を加えてほしい。</p>	<p>(続き) 【課題の全て】 ●高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、地域包括支援センターをはじめとする多様な主体による支援体制を整備し、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの確立が重要です。 ●介護する家族の負担を軽減するため、認知症の支援を推進する認知症サポーターの養成および新たな介護の担い手づくりが重要です。</p>
52	<p>「課題」3つ目「地域住民」という言葉は、包括支援の観点からは理解できるが、他施策と表現を合わせて「市民」等にしてはどうか。</p>	<p>●高齢者の社会参加をより一層推進することを通じて、生きがいづくりや介護予防につなげる取組が重要です。 ●幅広く多様な支援とサービスが利用できるよう、介護サービスの質の向上とともに量的確保を図る必要があります。</p>
53	<p>「課題」3つ目「関係団体・事業者等」の「等」に何が含まれるのかわかりやすいように記述してほしい。</p>	<p>●高齢者の社会参加をより一層推進することを通じて、生きがいづくりや介護予防につなげる取組が重要です。 ●幅広く多様な支援とサービスが利用できるよう、介護サービスの質の向上とともに量的確保を図る必要があります。</p>
54	<p>「課題」3つ目「地域ぐるみのケア体制」の「地域」とは「町内会・自治組織など」、今あるものを活かしていることを書いてはどうか。</p>	<p>【事業展開の方向性3つ目】 タイトルに「適正化」を加え、次のとおり修正します。 ●介護ニーズに対応するための介護保険事業の充実と適正化</p>
55	<p>地域包括支援センターはあるだけでなく、存在を知って、使ってほしい。「認識率」を指標としている自治体もあるので、指標に加えるか、現状と課題の文言に加えるなどしてほしい。</p>	<p>【用語説明】 ・「課題」の修正に合わせて、「用語説明」の「ケア」の記載を削除します。</p>
56	<p>「生活支援体制整備推進事業」の事業名の中に、「推進」という文言を取るべきではないのか。</p>	<p>「推進」を削除し、事業名を「生活支援体制整備事業」と修正します。</p>
57	<p>事業名に「としより」「老人」が入っているが、あまり使わない方がよいのではないか。「シニア」「高齢者」などの言葉に置き換えてはどうか。</p>	<p>「としよりの家等運営事業」のとしよりの家等には「としよりの家」、「老人いきいの家」、「つどいの里」などの高齢者福祉施設を総称していますので、「高齢者福祉施設運営事業」に変更します。 「老人クラブ補助事業」は、老人福祉法に規定されたもので、補助対象団体である「老人クラブ」が、その名称を使用していますので、現行のままとさせていただきます。</p>
58	<p>成果指標「認知症サポーター養成講座の累計受講者数」は、人口38万人に対して、目標値25,000人は適当なのか。もっと多くできないか検討してほしい。</p>	<p>厚生労働省から認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の数値目標の更新についての通知(平成29年7月5日付)があり、平成32年度末の目標を1,200万人としています。 この数値を一宮市に置き換えると36,000人のサポーター数となるため、「目標値」を「36,000人」に修正します。</p>

59	「いかに元気に生きていくか」という視点で、「自立率」等の指標を入れるべきではないか。	<p>成果指標③「地域密着型サービス施設数」を「65歳以上で介護サービスを利用している人の割合」に変更します。</p> <p>【基準値と目標値】 基準値:12.9% 目標値:17.0%</p> <p>【指標数値の算出方法】p92 ・各年度9月に介護サービス(居宅、施設、地域密着型、総合事業(平成29年度から))を利用した65歳以上の人数／各年度の9月末現在の65歳以上の人口×100</p>
-	※事務局から会議後に修正報告	<p>・指標②「地域の高齢者が出かけたくなるような通いの場の箇所数」の修正</p> <p>【目標値】 「300か所」を「380か所」に修正</p> <p>(理由) 国の介護保険、地域支援事業実施要綱によると住民主体の通いの場は、人口1万人に概ね10か所を目標としており、当市は人口38万人のため、380か所とします。</p> <p>【算出方法】p92 文章中の「いきいき・ふれあいサロン」の部分を「ふれあい・いきいきサロン」に修正</p>

プラン1 施策5

番号	委員からの指摘内容	回答
60	表「障害者手帳所持者数の推移」の「療育」と用語説明の「療育」の説明が合わない。	表「障害者手帳所持者数の推移」の種別の欄を、上から、「身体」を「身体障害」、「療育」を「知的障害」、「精神」を「精神障害」に修正します。
61	障害児の保育の受け皿がない、保育開始時刻が遅いなどにより、障害がある子どもの家族が社会復帰できないという事例がある。家族の復帰のことについても盛り込んでほしい。	障害児のいる働く親の社会復帰への支援として、障害児保育を実施しています。家族(介護者)の社会復帰支援については、障害児保育に限られない面もあり、総合計画での記載は難しいと考えますので、現行のままとさせていただきます。

プラン5 施策24

※ 施策24は指摘内容を受け、後述(p15、16)のとおり全面改訂します。

番号	委員からの指摘内容	回答
62	非行少年の人数が増えているのか減っているのかなど、県内や一宮市の状況を踏まえ、現状を書き直してはどうか。また、現状と課題、事業展開の方向性の関連も考えながら、全体の構成を再考されたい。	本施策において重要視する非行を「初発型非行」と明確にした上で、数値変化のわかる表を掲載し、全体の構成を見直しました。 また、用語説明に「初発型非行」の説明を追加します。

63	「青少年」の後に「(39歳までの人)」と加えるなど、39歳以下の人のことを指していることがわかるように書いてほしい。	「子ども・若者総合相談」では、「39歳まで」を対象としているため、当初、本施策でもこれを踏まえていました。しかし、内閣府では「青少年」は「青年期まで」を指し、「30歳未満」としていることから、本施策での対象者を「30歳未満」と変更して全体を見直しました。また、用語説明欄にこの旨を「青少年」の説明として記載します。
64	この施策は子どもの健全育成のことなのか、引きこもりなど39歳以下の人の若者対策の話なのかどちらなのかかわかりにくい。より重点をおいている方を中心に書くと良いのではないか。	
65	地域での見守り支援は学校だけでなく、学校外でも青少年のふれあいの場をつくる行事などもやっているの、その点も加えてはどうか。	「事業展開の方向性」に、地域の青少年健全育成啓発活動への補助事業として実施している「地域青少年育成会活動助成事業」を追加します。
66	「課題」2つ目の「他機関との連携」は、「警察・学校」など、わかるように補足してほしい。 また、「相互の情報共有」は何をしているのかわからないので、もっと内容を充実させてほしい。	具体的な表現になるよう文面を全面的に見直しました。
67	「課題」1つ目、「相談先の周知が必要だ」とあるが、相談先の確保が十分できているとは思わない。自殺対策等も含めて、「相談先の確保、周知」などと書き加えてほしい。	相談先は市のみならず、国、県においてもさまざま設置されていますが、対象者に情報が十分に届いていない状況が見られます。 相談機関の機能を活かすためには、「相談先の周知」が最重要と考えるのでこのままとさせていただきます。
68	「課題」3つ目、「機会」の部分は、ある1点のように感じるの、環境にしてはどうか。 また、「子ども会」は地域のコミュニティとして非常に重要だと思うので、子ども会のことも書き加えてほしい。	「機会を増やす」を「環境を整備する」に表現を修正します。 また、「子ども会」についても記載します。
69	本文は、深夜徘徊など、イレギュラーなケースを中心に書いているように感じる。健全に成長してきた子が気づかず悪い道に行かないようにするための啓発活動をしているのであれば、そのことも書き入れてほしい。	小中学校を通じて児童生徒と保護者に啓発活動を行っているの、本文に記載します。
70	インターネットやメディア教育についても周知してほしい。	インターネットやメディア対応策について、本文中に記載します。

71	<p>成果指標「相談の終結率」で、「解決した」ものだけでなく、「解決する見込み」と判断したものも含まれていると思うので、「解決した」ものだけを算出根拠としてはどうか。</p>	<p>成果指標①を「子ども・若者総合相談窓口の相談者数」に変更します。 (「解決した」という判断は、どの時点をとらえるかで変わってしまい、定義が困難であり、また、状況により変化する要素が大きいと考えます。)</p> <p>【基準値と目標値】 基準値148人 目標値180人</p> <p>【指標数値の算出方法】p95 子ども・若者総合相談窓口で受けた電話・面談・訪問相談のうち対象者が30歳未満である場合の相談者の実人数(継続の相談者は、1回のみ計上)</p> <p>また、「子ども・若者総合相談窓口の相談の内訳」のグラフを追加します。</p>
72	<p>グラフにある「非行少年」と指標の「若者」は同じことを指しているなら、わかるように表記を合わせてほしい。</p>	<p>成果指標②を「初発型非行の検挙人数」に変更します。</p> <p>【基準値と目標値】 基準値98人 目標値70人</p>
73	<p>成果指標の「若者の検挙・補導件数」の目標値は適当であるか。</p>	<p>【指標数値の算出方法】p95 一宮警察署管内の非行少年等の補導概況のデータのうち、刑法犯少年の初発型非行の4罪種(万引き・オートバイ盗・自転車盗・占有離脱物横領)の検挙人数</p>
74	<p>グラフにある「非行少年」「不良行為少年」と、指標の「若者の補導件数」を見比べるとわかりにくい。指標名の末尾に「(刑法犯・特別法犯少年)」と加えるなどわかるようにしてほしい。</p>	<p>また、グラフを指標と関連のある「一宮署管内の初発型非行の検挙人数」の表に変更します。</p>
75	<p>「子ども会」は維持が大変であると聞く。参加人数や団体数を成果指標に入れてはどうか。</p>	<p>成果指標③として「子ども会事業の実施数」を指標とします。 (子どもの人口が減ることから、参加人数は指標として適当でないと考え、参加できる機会の提供という観点から、この指標とします。)</p> <p>【基準値と目標値】 基準値59回 目標値59回</p> <p>【指標数値の算出方法】p95 一宮市児童育成連絡協議会が関連する子ども会事業およびジュニアリーダー事業での各種行事、研修会、派遣等の実施数の合計</p>

子どもから青少年まで健全に育つ環境をつくれます

現状と課題

【現状】

- 青少年やその関係者に、悩みを抱えながらも近くに相談できる人がいない、相談できる場所がわからないという状況があり、特に中高生にあっては不登校への支援が本人につながらず、ひきこもりになってしまうケースもあります。
- 未成年の健全育成に向けて、市民運動や啓発活動および市内各所での街頭指導活動などの事業を実施しています。
- スマートフォン等の急速な普及は、利便性の向上をもたらした反面、未成年の非行や犯罪被害に多大な影響を及ぼしています。
- 未成年の犯罪で過半数を占めるのは、初発型非行と呼ばれる万引きや自転車盗等です。
- 核家族化や高度な情報化が進むなか、子どもたちが実際の体験活動を通して他者との交流を深める機会が少なくなっています。

【課題】

- さまざまな悩みを抱える青少年やその関係者が必要なときに相談できるよう、相談先の周知が必要です。
- 未成年の健全育成の意識を市全体に浸透させていくためには、地域や学校と連携しつつ、継続的に啓発活動を進めることが重要です。
- 未成年や家庭に対し、学校、警察と協力して、未成年の犯罪被害の現状、非行防止の取組やインターネット・メディア対応策等の情報提供をしていくことが必要です。
- 子どもたちが大人も交えて交流する子ども会などの地域活動を維持し、子どもたちが共に体験や実習活動ができる環境を整備することが必要です。

■ 子ども・若者総合相談窓口の相談の内訳



※対象者が30歳未満の相談のみ抽出
資料：一宮市（平成27年度）

■ 一宮警察署管内の初発型非行の検挙人数

	平成25年	平成26年	平成27年
総数	102人	90人	98人
万引き	28人	40人	48人
オートバイ盗	0人	5人	7人
自転車盗	43人	24人	27人
占有離脱物横領	31人	21人	16人
刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合	54.0%	59.2%	58.7%
参考：刑法犯少年の総数	189人	152人	167人

※占有離脱物横領：遺失物、漂流物などの占有を離れた他人の物を横領した犯罪のこと

資料：一宮警察署

事業展開の方向性

●気軽に相談できる場の充実

子ども・若者総合相談事業、子ども悩みごと相談事業

●地域と共に行う啓発活動

青少年健全育成事業、地域青少年育成会活動助成事業

●子どもたちが体験等を通して成長できる場の提供

子ども会育成事業、ジュニアリーダー養成事業



ジュニアリーダー研修会

成果指標

指標名	基準値	目標値
①子ども・若者総合相談窓口の相談者数	148人	180人
②初発型非行の検挙人数	98人	70人
③子ども会事業の実施数	59回	59回

市民の体感指標

指標名	基準値	目標値
子どもが社会性を身につけていると思う人の割合	62.9%	—

関連する個別計画

- 一宮市子ども・子育て支援事業計画

用語説明

- 青少年
内閣府では、青少年を「青年期（30歳未満）まで」としていることから、本施策においても30歳未満とする。
- 初発型非行
犯行手段が容易なことから、罪の意識が薄く、軽い気持ちで行われるため、徐々に犯行がエスカレートする傾向があるとされる非行のこと。統計上は「万引き」「オートバイ盗」「自転車盗」「占有離脱物横領」の4種類をいう。

市民が考えた

「私たちにできること」



- 子どもたちに声かけするなど、地域で子どもを見守る環境をつくる

プラン5 施策25

番号	委員からの指摘内容	回答
76	「現状」3つ目、「躯体(建物本体)」は柔らかい表現に変えたほうがよい。また、「非構造部材」という言葉の前に言葉を補足した方がよい。	「躯体」を削除し、「建物本体」のみの記載とします。また、「非構造部材」の前に「照明器具等の」を加えます。
77	空調とトイレのことしか書いていないが、グラウンドやプールの整備など、他にもやっていることを書いた方がよい。	ご指摘のとおり施設整備は、記載事項だけではありませんが、重点課題として計画的に実施していることを中心に記載したいと考えますので、現行のままとさせていただきます。
78	「課題」の1つ目と2つ目は同じことをいっているので、書き換えた方がよい。 (例:「課題」の1つ目を「現状」に移すなど。)	「課題」の1つ目と2つ目を1つにまとめ、次のとおり変更します。
79	昭和30年以前の建物のこともグラフでは挙げてあるが、校舎など長寿命化改修するのか、建替するのか本文ではわかりにくい。	【変更後】 中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減および予算の平準化を図りつつ、昭和40年代以前に建築された施設については、改築等の検討を行い、昭和50年代以降に建築された施設については、長寿命化改修に取り組むことが喫緊の課題です。
80	「課題」2つ目「長寿命化改修等」の「等」は何を指すのかわかりにくいので、前に補足するなど具体的に書いてほしい。	
-	※事務局から会議後に修正報告	「関連する個別計画」の「学校施設の個別長寿命化計画」の記載を削除します。 (理由) 「関連する個別計画」欄には、現在策定済みもしくは策定中の計画を掲載していますが、当計画は策定が未着手のため

プラン5 施策26

番号	委員からの指摘内容	回答
81	「課題」を受けた「事業展開の方向性」の記述にするべきである。 (「課題」と「事業展開の方向性」が合っていない。)	「事業展開の方向性」の項目を上から順に次のとおり変更します。 ●未来に生きる力の育成 ●家庭・地域社会・学校の連携強化 ●教員の指導力の向上 ●笑顔で登校できる学級・学校づくり
82	教員への負担が大きく、厳しい状況にあると思うので、「課題」の3つ目に「教員の負担を軽減しつつ」というような文言を加えてほしい。	「プラン5」は「未来の人財を育てる」ことに視点をあてたものですので、「課題」への「教員への負担軽減」の記載の追加は適当でないと考えます。しかしながら、教師の負担軽減については十分に対応していきます。

83	「特色ある教育活動」の内容として、「課題」の1つ目に「国際社会や科学技術の向上に対応できる」ということを付け加えてほしい。	「課題」の1つ目を次のとおり修正します。 「●変化が激しく将来の予測が困難な時代にあっても、子どもたちが国際社会や科学技術の向上に対応し、自信を持って未来を切り拓き、より良い社会を作り出すことができる資質・能力を育成することが必要です。」 また、「現状」と「課題」の内容が対応するように、「現状」の1つ目と3つ目の位置を入れ替えます。
84	「課題」4つ目の「専門家等と連携」をすることは誰のことなのかわかりづらい。「教員、保護者、子ども」など、主語がわかるような書き方に変更してほしい。	「課題」の4つ目を次のとおり修正します。 「不登校やいじめなど悩みを抱える子どもや特別な支援の必要な子どもや家庭に適切に対応するため、保護者・教員・専門家との連携が必要です。」
85	「現状」に不登校のことも記述があるので、「課題」にも入れるべきである。「課題」の4つ目に加えられないか。	
86	「特色ある教育活動」とは、ICTだけではないと思うので、ICT以外の指標(英語、不登校など)も加えられないか検討してほしい。	成果指標③として「英語テストで8割以上正解できた児童の割合」を追加します。 【基準値と目標値】 基準値:73.2% 目標値:80.0% 【指標数値の算出方法(p95)】 英語テストで8割以上正解できた小学校3、4年生児童数／小学校3、4年生全児童数×100(単年度ごとの集計)
87	「事業展開の方向性」の1つ目に他の事業も追加すべきである。	「事業展開の方向性」の1つ目に、「英会話指導講師・英語指導講師派遣事業」を追加します。
88	学校運営協議会は、特色のある事業であるので、もっと見える形にすべきではないか。	用語説明に次のとおり「学校運営協議会」を追加し、「不登校」の説明を削除します。 ○学校運営協議会(コミュニティ・スクール) 学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするために置かれる機関のこと。地域住民・保護者・学校の教職員等で構成される。

プラン5 施策27

番号	委員からの指摘内容	回答
89	「スポーツ」という言葉の範囲がわかりにくいので、定義してはどうか。	「用語説明」の一番上に次のとおり追加します。 「本施策における『スポーツ』とは、競技スポーツのみでなく、市民一般に広く行われている生涯スポーツも含む。」

90	「現状」の1つ目の「スポーツ」は、「スポーツ(運動)」と表記してはどうか。	次のように修正します。 「●アンケート結果によると、週1回以上スポーツ(運動)をしている成人の割合は、(後略)」
91	「現状」の2つ目に、「子どもの体力・運動能力が低下している」などの、事実についての記載も加えてほしい。	一概に子どもの体力・運動能力が低下しているとはいえませんが、本市の小学5年生の結果からは若干の低下も見られますので、次のように修正します。 「●全国的に子どもの体力・運動能力の低下が懸念されているなか、とりわけ本市では多くの種目で小学5年生は全国平均に比べて低く、中学2年生は全国平均を上回る結果となっています。」 また、紙面の都合上、現状の3番目・4番目を統合し、次のように修正します。 「●市民の約3分の1の人がスポーツ観戦をしたことがあり、市内でのプロスポーツや日本代表などの国際試合といった、トップレベルの試合の観戦希望が高くなっています。」
92	「現状」か「課題」に「運動」がなぜ必要なのか、わかるように書いてほしい。 メタボリックシンドロームや糖尿病など生活習慣病の予防、認知症の予防など、中高年も運動習慣をつけることが必要である。	【課題】の2番目に次の一文を追加します。 「●スポーツは、メタボリックシンドロームや生活習慣病、また認知症の予防にも効果的であり、特に中高年への啓発が重要です。」
93	「課題」の「スポーツ施設」は、「体育館、運動場、公園等」などの言葉を加えてはどうか。	【課題】の1番目を次のとおり修正します。 「●誰もが気軽にスポーツできる機会を充実させるため、体育館・運動場等の各施設の利便性を向上させることや、公園など身近な場所で運動できる環境の整備が必要です。」
94	事業展開の方向性に「施設整備」についても加えてほしい。	「事業展開の方向性」の1点目「生涯スポーツの推進」および2点目「競技スポーツの推進」のそれぞれに「スポーツ施設整備事業」を追加します。
95	成果指標①「スポーツ活動をする市民の数」は、市外の利用者も含まれているので、表の各種スポーツ事業の参加者数とするなど、より市民の数を上げるように変更してほしい。	次の理由により、成果指標の算出方法はそのままとします。 ・スポーツをしている実人数を把握するには、現行の算出方法「市内の公共スポーツ施設の利用者数」が最も広範囲に集計できるため。 ・表にある各種スポーツ事業の参加者数を用いることは、各行事での参加者数にとどまり、また、この場合においても市外の利用者を含むため。

プラン5 施策28

番号	委員からの指摘内容	回答
96	「現状」の1つ目は、施設のことを書いてあるが、無形民俗文化財、祭事などのイベントを見に来る人についても書き加えてほしい。	現状の1つ目と2つ目の間に、次の一文を追加します。 「●地域の祭りや伝統的な行事にも、幅広い世代の住民が参加したり観覧に訪れたりしています。」

97	文化財に親しむためには、PRをすることも必要ではないか。	<p>「課題」の1つ目に次の一文を追加します。 「●市民が本市の歴史・文化を身近に感じられるよう、情報発信を行うことが重要です。」 また、「事業展開の方向性」の「美術館展示事業」の後に「生涯学習出前講座事業」を追加します。</p>
98	成果指標①「無形文化財・無形民俗文化財の保存を担っている人の数」の算出方法には、「組織が町内会と重なる保存会は除く」とされているが、町内会と重なる保存会も加えるべきではないか。	<p>「組織が町内会と重なる保存会」は当初除いていましたが、この保存会の人数を含めることとし、次のとおり変更します。</p> <p>【基準値と目標値】 基準値:1,084人 目標値:1,084人</p> <p>【指標数値の算出方法】p96 愛知県・一宮市指定文化財における保存会および一宮市民俗芸能連盟加盟団体である保存会の人数</p>
99	成果指標②「博物館等の入館者数および催事参加者数」には、祭事を見に来た人の数も入れるべきではないか。	<p>祭事の観覧者数は正確な参加者数が把握できないため、追加しないこととします。 なお、代替として文化財のPRに関する事業として、「生涯学習出前講座」の参加者数を加え、次のとおり変更します。</p> <p>【基準値と目標値】 基準値:144,512人 目標値:159,000人</p> <p>【指標数値の算出方法】p96 (略)＋市民美術教室・生涯学習出前講座の参加者数</p>

■ 生活環境・行財政分科会

プラン2 施策6

番号	委員からの指摘内容	回答
100	焼却施設の基幹的設備改良が平成30年3月完了となっているが、表現が過去形となっており、おかしくないか。	基本計画の発行予定は平成30年4月であるため、このままとします。

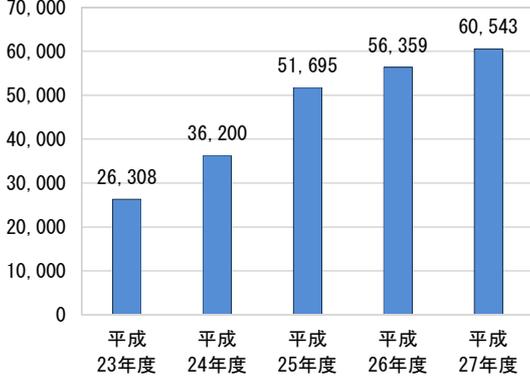
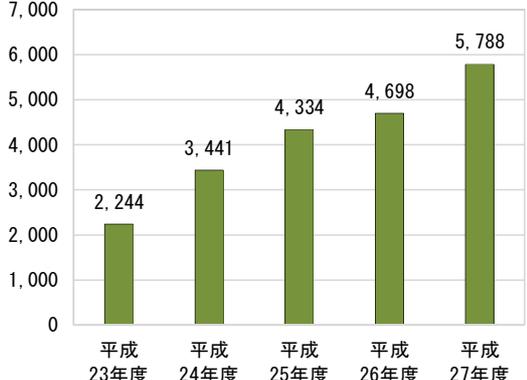
プラン2 施策7

番号	委員からの指摘内容	回答
101	事業展開の方向性として、エネルギーの地産地消における「スマートシティ」を付け加えてはどうか。	p23の「事業展開の方向性」にスマートシティの記述を付け加えます。「低炭素なまちづくりの推進」→「低炭素なまちづくりおよびスマートシティの推進」
102	成果指標について、以前は削減率も記載してあったと思うので、併記してはどうか。	基準値、目標値を掲載したp22のグラフに削減率(10%)を記載します。

プラン2 施策8

番号	委員からの指摘内容	回答
103	p24「現状と課題」で、環境講座開催数について、講座の参加人数も記載したらどうか。	表題を「環境学習講座の開催回数および参加者数」に変更し、参加人数を記載します。(平成25年度1,438人、平成26年度1,667人、平成27年度2,122人)

プラン2 施策9

番号	委員からの指摘内容	回答
	<p>※事務局から会議時に訂正報告(グラフ) グラフ「大野極楽寺公園利用者数」を「大野極楽寺公園施設利用者数」に、「138タワーパーク入場者数」を「民有地緑化面積」にそれぞれ変更します。</p> <p>■大野極楽寺公園施設利用者数 (人)</p>  <p>■民有地緑化面積 (㎡)</p>  <p>※イベント参加者と施設利用者(バーベキュー場、グラウンドゴルフ、レンタサイクル)の合計</p> <p>※一宮市緑化推進事業補助金制度を活用して整備された緑化面積の累計</p>	

-	※事務局から会議時に訂正報告 (成果指標)	<p>成果指標②の指標名を「水辺空間を活用したイベントの参加者数および施設の利用者数」とし、次のとおり変更します。</p> <p>【基準値と目標値】 基準値:1,111,700人 目標値:1,167,200人</p> <p>【指標数値の算出方法(p93)】 138タワーパークのイベント期間中の入園者数と、木曾川河川敷の公園のイベント参加者および施設利用者数の合計</p>
-	※事務局から会議時に訂正報告 (関連する個別計画)	「一宮農業振興地域整備計画」を「一宮市農業振興地域整備計画」に修正します。
104	現状2つ目の「面的基盤整備」という表現がわかりにくい。	<p>現状の2つ目を、以下の通り修正します。 「…これまで土地区画整理事業などの面的基盤整備の中で計画的に整備してきましたが、…」→ 「…これまで土地区画整理事業などにより計画的に公園用地を確保し、整備してきましたが、…」 また、用語説明を追加します。 ○土地区画整理事業 道路、公園等の公共施設が未整備な市街地で、土地の区画を整え公共施設を整備することにより快適な住環境を創出し、宅地の利用増進を図る事業のこと</p>
105	関連する個別計画について、どのような計画かわかるよう工夫して欲しい。	関連する個別計画については、参考資料として巻末にまとめて掲載することとします。
106	現状の3つ目について、環境を維持する観点から、田畑の減少に関するコメントが物足らなく思う。	<p>農地は環境保全等についても重要な役割を果たしていることを追記します。また、現状の3つ目ではなく、課題の5つ目を以下の通りに修正する方が適切と考えます。 「身近な緑としての農地を継続的に…」→ 「農地は自然環境の保全や良好な景観を形成する役割も果たしており、身近な緑として継続的に…」</p>
107	※他の分科会委員からの意見 課題の1つ目について、公園の遊具や河川における児童の怪我や死亡例が新聞で報告されていることから、安全面にも配慮したまちづくりが必要になると考えられる。安全対策に取り組む内容を文章に加えてはどうか。	<p>施策9については、公園・緑地のことを取り上げているため、課題および事業展開の方向性には河川の安全対策(フェンス等)については含まれていません。 都市公園や公園施設の安全対策を考慮して、課題の1つ目ではなく2つ目を「子育てや健康増進など地域のニーズに応じ、安全かつ安心できる都市公園の整備の推進、施設更新が必要です。」に修正を行います。</p>
-	※事務局から会議後に修正報告	<p>事業展開の方向性の1つ目、「水と緑とオープンスペースの整備推進と利活用」中の事業名「木曾川沿川の自然を活かした魅力づくり事業」を、「ミズベリング138事業」に修正します。 合わせて、「潤いのある美しい緑地の保全と緑化の推進」中の事業名「私たちの庭の会事業」を、「市民ボランティアによる公園花壇管理事業」に修正します。</p> <p>また、用語説明を以下の通り追加します。 ○ミズベリング 水辺に興味を持つ市民・企業・行政が一体となり水辺の賑わいを創り出す活動のこと。</p>

プラン2 施策10

番号	委員からの指摘内容	回答
108	ムクドリやカラスについては、農作物被害のことだけを捉えているが、課題との整合も図り、それ以外の生活環境の悪化に繋がる被害も記載してはどうか。	現状と課題に生活被害の記述を付け加えます。 現状の3つ目、「有害鳥獣による農作物被害が発生しています。」→「有害鳥獣による農作物被害や生活被害が発生しています。」 課題の4つ目、「有害鳥獣による農作物被害や不快害虫による生活環境の悪化に対応する必要があります。」→「有害鳥獣による農作物被害や生活被害と不快害虫の発生に対応する必要があります。」

プラン2 施策11

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議時に訂正報告	「課題」の1つ目の文中の「愛知県住生活基本計画2020」を「愛知県住生活基本計画2025」に変更します。
109	人口集中地区(DID)の状況の地図について、何かわかりやすい説明が付け加えられないか。	人口の状況がよりわかりやすい下図に変更し、現状の3つ目を、「居住地区は、市内のほぼ全域に広がっており、不効率な都市形態になっています。」に改めます。 これに合わせて、用語説明の「人口集中地区(DID)」の記載を削除します。
<p>■人口分布の状況 (人口集中地区(DID)の状況を差替)</p> <p>凡例 行政区域 市街化区域 鉄道駅 鉄道 東海道新幹線 高速道路 高速道路IC・JCT 国道 H22人口密度 0 20人/ha未満 20~40 40~60 60~80 80~100 100人/ha以上</p> <p>資料：国勢調査（平成22年）</p>		
110	※他の分科会委員からの意見 現状の3つ目に、土地利用で都市中心部の機能の集積と郊外部の集落の維持についての記載があるため、課題にも2地域のことを記載した方が良いのではないか。	課題の3つ目として、「郊外では、コミュニティや生活利便施設を維持するため、各種機能を一定のエリアに集約化する必要があります。」を追記します。 また、課題の2つ目を、以下の通り修正します。 「都市機能がコンパクトに・・・」→ 「市街地では、都市機能がコンパクトに・・・」

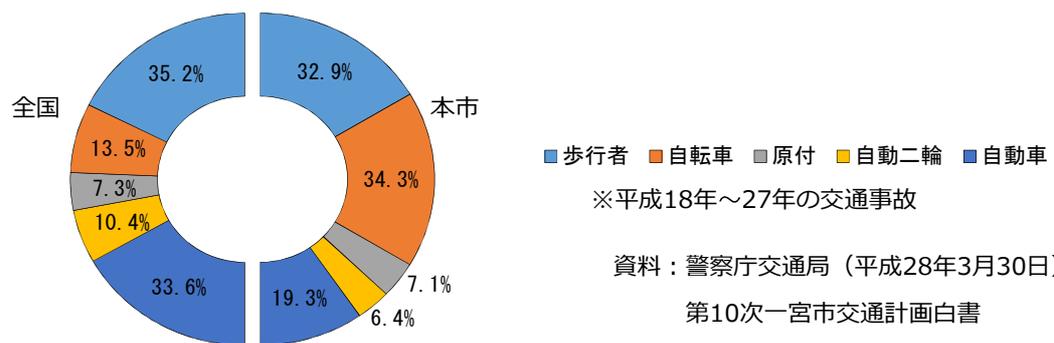
プラン2 施策12

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議時に訂正報告	<p>課題の表中の修正</p> <p>■路線バス利用者数 一宮駅⇄宮田本郷 630,637人→634,149人 計 4,564,415人→4,567,927人</p> <p>■市内バス利用者数 合計 4,812,903人→4,816,415人</p>
111	成果指標「市内バスの年間利用者数」について、基準値と目標値がイコールなのは何故か。目標値は増えた方が良いのではないか。	目標値を4,816千人から4,900千人に修正します。
112	※他の分科会委員からの意見 高齢化が進むにつれて、所得の低下も危惧されるため、交通手段を用意するだけでなく、支援(経済的・広報的)も必要と考える。課題の2つ目を、「地域の実情に合った交通手段の検討・導入」を「地域の実情に合った交通手段および支援の検討・導入」としてはどうか。	<p>ご指摘の内容は、ご指摘の箇所を変更するのではなく、課題の1つ目を変更の方が適切と考えます。</p> <p>また、さまざまな支援(金額面や広報はもちろん、乗降しやすい車両、タイヤを合わせる乗り継ぎの負担減など)が考えられます。</p> <p>そのため、課題の1つ目を「公共交通網の整備に取り組むことが…」を「公共交通網や、公共交通を利用しやすい環境の整備に取り組むことが…」と変更します。</p>

プラン2 施策13

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議時に訂正報告	<p>課題のグラフ中の修正</p> <p>■状態・年齢層別交通事故死者の割合 全体の歩行者の割合 37.4%→37.3%、自動車の割合 32.2%→32.3%</p>
113	表について、全国の内容のものを使用しているが、一宮市の現状を示した表の方が身近に感じられるのではないか。また、全国の表と対比してみてはどうか。	<p>現状の3つ目を、「歩行者および自転車乗車中の死亡事故は、過去10年、あまり減っていませんが、交通事故全体に占める割合は、全国で48.7%に対し、本市は67.2%と大きく上回っています。」と修正します。</p> <p>併せて、p34左側のグラフを下記グラフに変更します。</p>

■状態別交通事故死者の割合



マネジメント2 施策3

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議後に修正報告	<p>以下の通り、用語説明に追記します。</p> <p>○経常収支比率 市税や普通交付税など経常的に収入される一般財源(使途が特定されない収入)のうち、人件費、扶助費、公債費など経常的な支出に充てた額が占める比率のこと。これが高いほど財政構造の柔軟性が低いとされる。</p> <p>○実質公債費比率 公債費やそれに準ずるものが、市の標準財政規模(標準的に収入が見込まれる一般財源の額)に占める比率のこと。</p>

マネジメント2 施策4

番号	委員からの指摘内容	回答
-	※事務局から会議時に訂正報告	<p>成果指標①を「公共施設の延べ床面積縮減率」に変更し、目標値等を次のとおりとします。</p> <p>【基準値と目標値】 基準値:0% 目標値:2.3%</p> <p>【指標数値の算出方法(p96)】 平成28年度当初の公共施設総延床面積からの縮減率 ※維持管理経費の削減額も延床面積の縮減効果相当面積として算入</p>

マネジメント2 施策5

番号	委員からの指摘内容	回答
114	フリーWi-Fiについて、市で設置した内容の記載しかないが、民間のサービス等についても記載をすることはどうか。	<p>現状の1つ目の「民間ではICTを利活用したさまざまなサービスが提供され、利便性が高くなっています。」を「民間では、フリーWi-FiなどICTを利活用したさまざまなサービスが提供され、利便性が高くなっています。」に修正します。</p>
115	<p>※他の分科会委員からの意見 マネジメント2の施策5と6が類似している。 施策6は情報発信、管理についてに限る方がわかりやすいと思われる。 そこで、個人情報管理や情報の誤った利用への注意が必要なことも課題として記載する方がよいのではないか。</p>	<p>課題の2つ目を、以下のとおり修正します。 「(略)、市が保有するデータのうち、電子化されていないデータや二次利用できないデータ形式は、電子化や加工等の作業をするなど、オープンデータを利用しやすい環境の整備が必要です。」 →「(略)、市が適切に管理した情報を、市民が活用しやすい方法で発信することが必要です。」</p>

116	<p>※他の分科会委員からの意見 マネジメント2の施策5と6の成果指標に同じもの(「オープンデータ公開件数」)があるので、変更してはどうか。</p>	<p>成果指標の指標名「オープンデータ公開件数」は施策5と6で重複しますが、情報発信の一つの方法として今後積極的に取り組む課題であるため、このままとさせていただきます。</p>
-----	--	--

マネジメント2 施策6

番号	委員からの指摘内容	回答
117	<p>市からの情報発信の手段として、SNSの事も触れた方が良いのではないかと。</p>	<p>「事業展開の方向性」、1つ目の「さまざまな広報媒体による適切な情報発信の推進」の「各種広報媒体の活用事業」の後に、「SNSによる情報発信事業」を追記します。 用語説明に「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) フェイスブックやツイッターなどのインターネットを活用したコミュニケーションの手段のこと。」を追記します。</p>
118	<p>※他の分科会委員からの意見 課題の3つ目について、公開するのはデータだけではないと思われる。以下のとおり、修正してはどうか。 「(略)、公開できるデータを増やし、(略)」 →「(略)、公開できる情報(データ、会議等)を増やすとともに、(略)」</p>	<p>課題の3つ目について、以下のとおり修正します。 「(略)、公開できるデータを増やし、(略)」 →「(略)、公開できる行政情報(データ、文書等)を増やし、(略)」</p>

マネジメント2 施策7

番号	委員からの指摘内容	回答
119	<p>テーマ「市民との協働を進めます」の市民という表現については、企業や学校関係も入っているのか。 もし、入っているのであれば、触れてはどうか。</p>	<p>現状の4つ目に、「●大学や企業とも協働によるまちづくりを進めるため、包括連携協定を締結しています。」を追加します。</p>

■ 安全・安心・産業・シティプロモーション分科会

プラン3 施策14

番号	委員からの指摘内容	回答
120	液状化対策は含まれているか。落橋の恐れもあるので入れてほしい。掲載されている事業に含まれているのか。	液状化による変位によって落橋する事例もあり、耐震化の事業を進める中で、液状化対策も検討してまいります。事業としては、「橋梁保全事業」に含まれています。
121	市内に浸水箇所があるが、書いてない。対策は十分なのか。	p39「事業展開の方向性」の4点目に、「浸水被害の軽減」として記入してありますので、修正なしとします。

プラン3 施策15

番号	委員からの指摘内容	回答
122	成果指標②の目標15,000件について、一宮市の人口からどれだけの比率があればいいのか、評価は悩ましい。高齢者など支援を必要とする人を把握できるものではなく、どう考えれば良いか。	成果指標の目標数値は「あんしん・防災ねっと」登録者12,262人と防災ツイッター(H28.4.1運用開始)フォロワーの合計数としています。災害時の情報提供は、複数の手段を用いることが望ましく、今後も各種媒体の活用を考えてまいります。
123	災害への備えとして、教育関係との連携はないのか。連区・町内会だけでは不十分と感じる。	各学校で防災訓練や防災教育を行っているほか、学校を避難所として指定しているなどの関わりがあります。また、「事業展開の方向性」に記載している「防災啓発事業」の一環として、研修会・訓練等への児童生徒の参加を促しています。防災教育の説明を補足するため、【課題】の4点目として、次の一文を追加します。「●いつ起こるかわからない災害に備え、地域や学校での防災啓発なども必要です。」

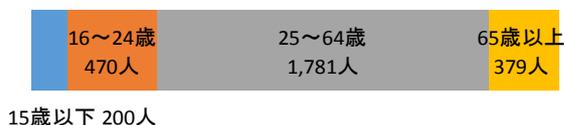
プラン3 施策16

番号	委員からの指摘内容	回答
124	一宮ならではの現状を記載しておくことが大事ではないか。	【現状】の1点目の前に次の一文を追加します。「●12の消防署や消防出張所、25の消防分団が市内に点在しており、地域の安全・安心を守っています。」 2点目(上の追加により3番目になります)を「●建築物の(中略)複雑多様化していますが、 <u>地形的には山林のない平野であるため、消防署や消防出張所などから素早い対応が可能です。</u> 」(下線部分を追加)とします。

プラン3 施策17

番号	委員からの指摘内容	回答
125	高齢者からは、公共交通が充実していたら運転免許証を返納するという声がある。「返納の支援も必要」としかいえないか。	課題の4点目を「●高齢ドライバーの事故防止のため、運転免許証の自主返納や外出の支援が必要です。」とします。
126	現状には、「愛知県は」と2点あるが、一宮市の記述も書いてはどうか。	現状の1点目を「・・・全国最多となっており、本市でも毎年多くの方が交通事故により尊い命を落としています。」と修正します。 また、2点目を「●愛知県は、自動車の保有台数が全国1位で、本市も県内で上位の保有台数であることから、交通量が多いということもありますが、交通ルールを守らないために発生する事故が多いのも実状です。」とします。
127	高齢者への事故防止対策を強調してほしい。また、警察との協力も記載する必要があるのではないか。	課題の1点目を「●季節ごとの交通安全市民運動の時期に合わせた啓発や出前講座を行うほか、一宮警察署や地域の住民と連携し、幅広い年代層に効果的な啓発活動を行うことが必要です。」とします。
128	指標で死傷者数となっているが、死者数と負傷者数を分けてはどうか。	成果指標①「交通事故による死傷者数」は、死者数(基準値14人、目標値8人以下)と負傷者数(基準値2,816人、目標値2,200人以下)に分けて記載します。 また、p94の指標・算出方法は「交通事故による死者数」を「各年末の交通事故による死者数」、「交通事故による負傷者数」を「各年末の交通事故による負傷者数」とします。
129	理解しやすいグラフにするため、年齢別や原因別にしてはどうか。	平成27年の「年齢別の死傷者数」と「人身事故の形態別内訳」のグラフ(下図)を追加します。

■ 年齢別の死傷者数

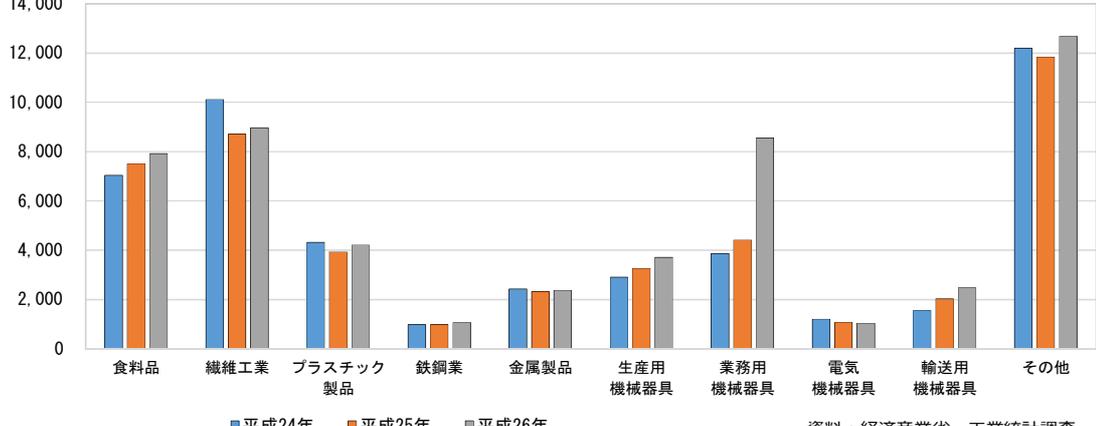


■ 人身事故の形態別内訳



資料:一宮警察署(平成27年)

プラン4 施策19

番号	委員からの指摘内容	回答
	<p>※事務局から会議時に訂正報告</p> <p>■業種別製造品出荷額等の推移</p> <p>(千万円)</p>  <p>資料：経済産業省 工業統計調査</p> <p>(修正の内容と理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象年数を3年分に修正します。合わせて、出典を「経済産業省 工業統計調査」に修正します。(5年に一度実施される経済センサス活動調査(平成23年)と毎年行われる工業統計調査を合わせてグラフを作成していましたが、わかりやすいよう工業統計調査のみの出典とする) ・項目名を修正します。(日本産業分類の正式名称に統一する) ・「年度」を「年」に修正します。(誤りの修正) 	
130	現状と課題で、小売業・商店街についての記述はないのか。	現状の2点目を「・・・影響が大きく、卸売・小売業や飲食・宿泊業など、製造業以外の業種においても、資金繰りについての・・・」に修正します。
131	グラフは全国のデータではなく、一宮市であれば、明記した方が良い。	基本計画全体の統一事項として、本市のデータを掲載することを原則とし、国・県のデータの場合に「全国」または「愛知県」と特記します。
132	次世代の産業というのは、具体的にどのような産業なのか。	<p>課題3点目を「・・・環境の変化に耐えうる次世代産業を育成・・・」とし、事業展開の方向性の3点目「産業の多角化」に「次世代産業育成支援事業」を追加します。</p> <p>また、用語説明を次のとおり追加します。</p> <p>「○次世代産業 自動車関連、航空宇宙関連、環境・新エネルギー関連、健康長寿関連、情報通信関連、ロボット関連等の産業を重点的に誘致・振興を図っている。」</p>
133	成果指標③「企業の新增設の件数」がわかりにくい。表現を変えてはどうか。	指標名を「奨励金を交付した企業の新增設の累積件数」と修正します。
134	企業のBCP作成支援の記載がない。課題などに記載してはどうか。	課題の5点目として「●将来起こる可能性が高い南海トラフ地震に備え、BCP(事業継続計画)の整備を支援する必要があります。」を追加します。
135	<p>※他の分科会委員からの意見</p> <p>繊維産業は現在、技術の継承も課題となっている。技術が継承されなければ、消失も危惧される。課題の1点目に追加して記載してほしい。</p>	課題の1点目を「●繊維技術を継承しつつ繊維産業の衰退を防ぎ、・・・」と修正します。

プラン4 施策20

番号	委員からの指摘内容	回答
136	<p>今後は70歳での就労も視野に入ってくる。その視点での記載も必要では。</p>	<p>課題の1点目を「●障害者が希望の職種に就き、意欲を持って働くことができるように事業所の間口を広げる必要があります。」と修正し、2点目として次のとおり追加します。 「●就職を希望する高齢者の増加に伴い、今後は65歳を超えても働くことができるような支援が必要です。」</p>

プラン4 施策21

	委員からの指摘内容	回答
137	<p>※他の分科会委員からの意見 出産だけでなく介護で離職する女性も増えている。今後、ダブルケア対策が必要なので、課題の1点目に追加して記載してほしい。</p>	<p>課題の1点目を「●子育て・介護・家事に従事するため、退職する女性も依然として多く、再就職を望むときに、希望の職に就くための支援が重要です。」とします。</p>

プラン4 施策22

番号	委員からの指摘内容	回答
138	<p>ブランド化については考えていないか。施策としては記載しないか。</p>	<p>現状の2点目を「●国は農地の集約化・大規模化、ICTによるコスト削減や6次産業化、地産地消、地域ブランド化を推し進めており、本市でも付加価値の高い農産物の生産を目指しています。」とします。</p>

プラン4 施策23

番号	委員からの指摘内容	回答
139	<p>幹線道路に緊急道路も含まれていると思うが、一宮市だけでなく周辺市町との連携も必要である。</p>	<p>課題の1点目を「●市としての一体感をもたらし、地域間の活発な交流を生むとともに、災害時には周辺市町との緊急輸送が可能な道路ネットワークの構築が必要です。」に修正します。</p>
140	<p>名岐道路延伸について記載がない。具体的に触れた方が良い。</p>	<p>現状の1点目を「●本市は、名神高速道路、東海北陸自動車道、名古屋高速道路(名岐道路)といった高速道路網を有する交通の要衝となっていますが、一宮ジャンクションや国道22号をはじめ、多くの箇所でも慢性的に渋滞が発生しています。」とし、課題の1点目に「●一宮ジャンクションや国道22号の渋滞対策として、名岐道路の早期整備が必要です。」を追加します。 なお、「■都市計画道路の整備割合」の図に、名岐道路(未整備区間)を記載します。 また、事業展開の方向性の1点目「幹線道路の新設」に「国・県と連携した幹線道路整備促進事業」を追加します。</p>